

基本方針（中間案）からの主な修正点について

番号	最終案の該当箇所	中間案の表記	最終案での修正
1	目次	<p>第1章 リニューアルの背景</p> <p>1 はじめに</p> <p>2 宮城県美術館の特色</p> <p>(略)</p> <p>第2章 リニューアルの目的と方向性</p> <p>1 宮城県美術館の現状と課題</p> <p>(1) 老朽化の状況</p> <p>(2) 今日の課題</p> <p>2 宮城県美術館の目指す姿</p> <p>(略)</p> <p>3 施設改修の基本方針</p> <p>第3章 リニューアルの具体的内容</p> <p>1 機能と改修内容</p> <p>(略)</p> <p>2 老朽化箇所の更新</p> <p>(1) 建物</p> <p>(2) 設備</p>	<p><u>はじめに</u></p> <p>第1章 リニューアルの背景</p> <p>1 宮城県美術館の特色</p> <p>(略)</p> <p><u>2 宮城県美術館の現状と課題</u></p> <p><u>(1) 老朽化の状況</u></p> <p><u>(2) 今日の課題</u></p> <p>第2章 リニューアルの目的と方向性</p> <p>1 宮城県美術館の目指す姿</p> <p>(略)</p> <p>2 施設改修の基本方針</p> <p>第3章 リニューアルの具体的内容</p> <p>1 機能と改修内容</p> <p>(略)</p> <p>2 老朽化・<u>旧態化</u>箇所の更新</p> <p>(1) 建物</p> <p>(2) 設備</p> <p><u>(3) 外構</u></p>
2	p. 1	<p>それらを実現するには、老朽化した部位の改修・更新に留まらない、施設全体の大幅なリニューアルが必要です。</p>	<p>それらを実現するには、<u>財政面等の事情により全面建替が困難な現状ではありますが</u>、老朽化した部位の改修・更新に留まらない、施設全体の大幅なリニューアルが必要です。</p>
3	p. 2	<p>バス交通の場合、仙台駅西口より市営バス「川内営業所前行」または「(広瀬通経由)交通公園循環」行きを利用し、「二高・宮城県美術館前」停留所で下車します(仙台駅より15分程度)。停留所は美術館前にあり、交通利便性は高いと言えます。</p>	<p>バス交通の場合、仙台駅西口より市営バス「川内営業所前行」または「(広瀬通経由)交通公園循環」行きを利用し<u>ます</u>。<u>最寄りの「二高・宮城県美術館前」停留所(仙台駅より15分程度)からは徒歩約3分です。</u> <u>総体的な</u>交通利便性は高いと言えます。</p>

4	p. 7-8	(新規追加)	○老朽化の状況に「ハ 外構」を追加 ○その他, 文言を適宜修正
5	p. 9	子どもが美術に触れる機会を提供する場として, 美術館に期待される役割が高まってきています。 宮城県美術館は開館時から教育普及事業における地域の教育機関との連携を継続してきました。また, 総合的な学習や地域学習などの分野における美術館利用のニーズも高まっています。	子どもが美術に触れる機会を提供する場として, 美術館に期待される役割が高まってきています。 <u>また, 総合的な学習や地域学習などの分野における美術館利用のニーズも高まっています。</u> 宮城県美術館は開館時から教育普及事業における地域の教育機関との連携を継続してきました。
6	p. 12	(1) から (3) までを踏まえ, 多くの人にとって魅力ある美術館であり続けるために, 宮城県美術館は以下のような美術館であることを目指します。 ・ 記憶に残る美術館 ・ また訪れたいくなる美術館 ・ 常に新しい発見のある美術館	(1) から (3) までを踏まえ, 多くの人にとって魅力ある美術館であり続けるために, 宮城県美術館は <u>「記憶に残る」, 「また訪れたいくなる」, 「常に新しい発見のある」</u> 美術館であることを目指します。
7	p. 14	(新規追加)	リニューアルのキャッチフレーズとコンセプトがわかりやすくなるような模式図を挿入
8	p. 15	来館者の利便性や職員の作業性を両立させることを考慮し, 耐久性のある外装材, 省エネルギーに配慮した建物構成など, 故前川國男氏の「建物の合理性の精神」を尊重することも大切です。	来館者の利便性や職員の作業性を両立させることを考慮し, 耐久性のある外装材, 省エネルギーに配慮した建物構成など, <u>既存の建築のもつ合理性を活かした改修を行います。</u>
9	p. 15	美術館の学芸員や管理者等からの要望を踏まえて,	<u>県民, 美術館の学芸員及び</u> 管理者等からの要望を踏まえて,
9	p. 15	適切なライフサイクルコスト	ライフサイクルコストの <u>低減</u>
10	p. 15	また, 地球温暖化や環境対応にも充分配慮しなくてはなりません。	また, 地球温暖化や環境対応にも充分配慮するほか, <u>日常的なメンテナンスや設備更新のための作業性も確保し, 長く使える建築を目指します。</u>
11	p. 15	老若男女, 障害の有無に関係なく, すべての人が快適に利用できることを目指す必要があります。	<u>障害の有無, 年齢, 性別, 国籍等にかかわらず多様な背景の人々が快適に利用できることを目指します。</u>

12	p. 16	<p>子どもの創造性や知的好奇心を育むための活動「キッズ・プロジェクト」（仮称）を推進します。鑑賞・造形・素材体験プログラムの実施、子どもも楽しめる展示や作品解説の設置、親子で過ごせる場所の確保、乳幼児向けのアメニティの充実、子どもと美術に関する研究の推進といった、これまで行ってきた事業を踏まえて、子どもに関連する取組を新たに再構築するものです。また、このプロジェクトは子どもだけでなく大人にも開かれた内容による全館的な取組とします。</p>	<p><u>「キッズ・プロジェクト」（仮称）を推進します。</u> <u>その目的は、子どもの創造性や知的好奇心を育み、子どもが行っても良い、居ても良いと思える場所づくりを行うことです。同時に、子どもをきっかけとして、新しい感覚との出会いを創出する、誰もが過ごしやすい美術館について考えるなど、美術館を訪れるすべての人を結びつけるものです。</u> <u>これまで行ってきた事業を踏まえて、子どもに関連する取組を新たに再構築します。たとえば、作品の鑑賞や造形活動、素材に触れること等を体験するプログラムを行います。その他にも、子どもへのメッセージを込めた展示や作品解説の企画、親子で過ごせる場所の確保、乳幼児向けのアメニティの充実、子どもと美術に関する研究の推進など、美術館のあらゆる施設・事業に及ぶ取組とします。</u></p>
13	p. 17	<p>●年齢、性別、居住地、国籍等を含めた多様な背景の人々が、美術館での時間を快適に過ごすことができるよう、施設の構造から人的対応に至るまで、行き渡った配慮を施します。 ●高齢者や障害をもつ人も安心して来館できるよう、ユニバーサルデザインへの合理的配慮を徹底します。</p>	<p><u>障害の有無、年齢、性別、国籍等にかかわらず、多様な背景の人々が安心して来館し、快適に過ごすことができるよう、施設の構造から人的対応に至るまで、ユニバーサルデザインへの合理的配慮を徹底します。</u></p>
14	p. 17	<p>来館することがさらに楽しみになるような、レストランやカフェ、ミュージアムショップなどを備えます。</p>	<p>来館することがさらに楽しみになるような、レストランやカフェ、ミュージアムショップなどを<u>整備します。県産食材の提供、展示に即したグッズの販売など、オリジナルな魅力の向上を図ります。</u></p>
15	p. 18	<p>交流ラウンジ</p>	<p><u>情報・交流ラウンジ</u></p>
16	p. 18	<p>展示室とその他諸室の結節点となり、来館者がゆったりと座ってくつろげるスペースとします。</p>	<p>展示室とその他諸室の結節点となり、来館者が<u>美術館の雰囲気を楽しみながら</u>、ゆったりと座ってくつろげるスペースとします。</p>
17	p. 18	<p>来館者がレストラン以外で飲食できるスペースを設けます。</p>	<p><u>学校団体等の利用者が必要に応じて軽飲食できるスペースを設けます。</u></p>

18	p. 18	来館者が美術館の北側に位置する第2駐車場から円滑に入館できるよう、第2駐車場側の外構を見直し、サブエントランスを整備します。	<u>来館者の安全な入館経路を確保し、周囲から人の流れをスムーズに呼び込めるよう、また、美術館の魅力が向上するよう、環境デザインにも配慮して外構を整備します。美術館の北側に位置する第2駐車場側には、車で直付けできるサブエントランスを整備します。</u>
19	p. 19-21	ヴィジブル・ストレージ（見える収蔵庫）	<u>見える収蔵庫（ヴィジブル・ストレージ）</u>
20	p. 19	国籍を問わず美術館を楽しめるよう、サイン等の多言語対応の充実を図ります。	国籍を問わず美術館を楽しめるよう、サイン等の多言語対応の充実を図ります。 <u>また、音声ガイドやスマートフォンを利用した解説サービスなど、幅広い鑑賞が可能な展示の手法を検討します。</u>
21	p. 19	（新規追加）	<u>充実した広報活動のために必要な体制を整え、美術館の事業について効果的に発信して来館者の増加を目指します。また、外国語による広報も強化します。</u>
22	p. 19	（新規追加）	<u>来館者が活発に情報収集・情報発信を行えるよう、館内全域のフリーWi-Fiの整備を目指します。</u>
23	p. 21	本館地階での増床を想定します。	地階 <u>レベル</u> での増床を <u>検討</u> します。
24	p. 21	ボランティア等、職員と来館者との間に位置する関わり方で、県内地域における芸術・文化活動に主体的に関わりたい人が、活発に活動できるような環境を整えます。	ボランティア等、職員と来館者との間に位置する関わり方で、県内地域における芸術・文化活動に主体的に関わりたい人が、活発に活動できるような環境を整えます。 <u>また、外部人材との連携やコーディネートが可能になる体制を整えます。</u>
25	p. 22	また、県民ギャラリーのサブ施設としても利用できるよう配慮します。	また、 <u>必要に応じて</u> 県民ギャラリーの <u>機能を補助する</u> 施設としても利用できるよう配慮します。
26	p. 22	照明器具にはLED及び高効率蛍光灯を採用します。	照明器具にはLEDを採用します。
27	p. 23	老朽化箇所の更新	老朽化・ <u>旧態化</u> 箇所の更新

28	p. 23-28	(配置変更及び新規追加)	<ul style="list-style-type: none"> ○「(1) 建物 ロ：屋内」に「昇降機」の項目を追加 (p.25) ○「(2) 設備 イ：電気設備」に「直流電源設備」「調光設備」「舞台照明設備」「弱電設備」「非常放送設備」「自動火災報知設備」の項目を追加 (p.26-27) ○「(3) 外構」を新たに設け, 「(1) 建物 イ 屋外」から「床タイル」「地盤沈下」の項目を移動し, 「北庭」「サイン」「照明」の項目を追加 (p.29) ○その他, 文言を適宜修正
29	p. 32	図6 増築可能範囲図	仙台市の都市計画に関する記載を追加
30	p. 34	「1 概算事業費」内に新規追加	<u>現時点では, 概算事業費を, 約50~60億円と見込んでいます。</u> <u>※ 今後の検討により, 変動することがあります。</u>
32	p. 43	関連法令等一覧	<u>建築基準法に関わる溯及対象法令等一覧</u>